

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和6年9月10日（火）
- 2 確認箇所
2号機原子炉建屋（図1）
※作業状況を遠隔操作室において確認
- 3 確認項目
テレスコピック式試験的取り出し装置による燃料デブリ試験的取り出し作業の状況

4 確認結果の概要

2号機においてテレスコピック式試験的取り出し装置（以下「テレスコ装置」という。）による燃料デブリ^{※1}試験的取り出し作業が計画されている。

8月22日に燃料デブリ試験的取り出し作業が開始される予定であったが、ガイドパイプ^{※2}に押し込みパイプを接続するための準備作業中に、押し込みパイプを接続する順番が計画していた順番と異なることがわかったため、作業は中断された。（前回確認：[令和6年8月22日](#)）

押し込みパイプを正しい順に並べ替える作業が昨日までに完了し、本日から燃料デブリ試験的取り出し作業が再開されることから、その状況を確認した。

本日実施した主な作業は以下のとおりであり、予定していた作業は問題なく終了した。

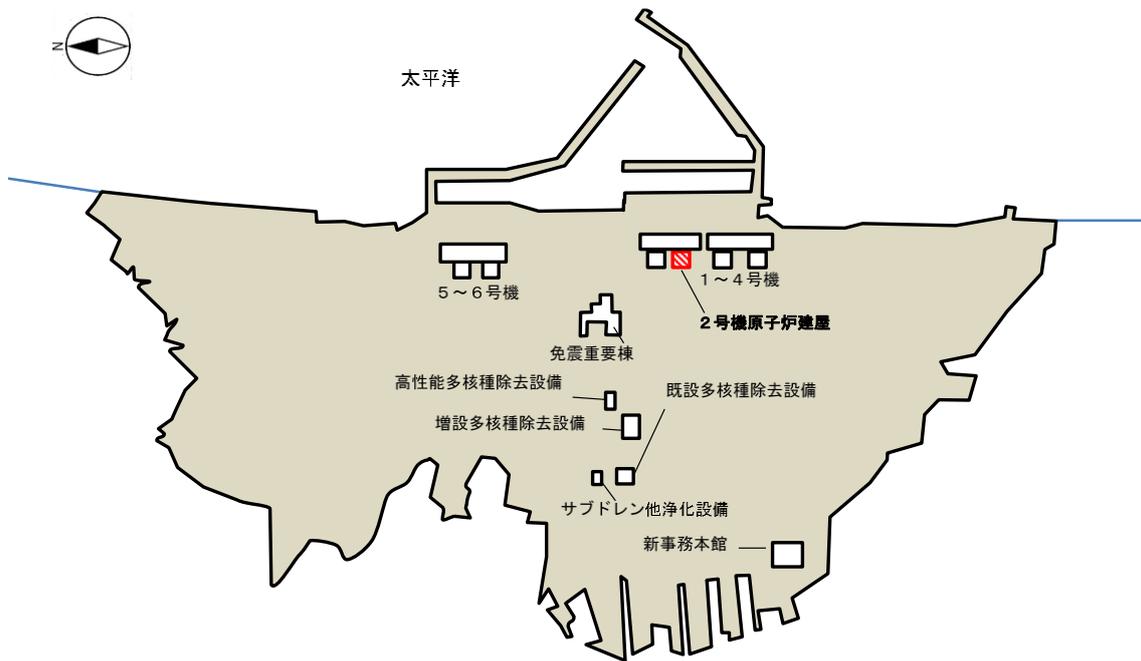
- 6時36分 作業開始
- 7時00分 押し込みパイプNo.1接続完了
- 7時06分 隔離弁「開」完了
- 7時20分 テレスコ装置先端部隔離弁通過
- 7時23分 ガイドパイプの挿入完了
- 8時04分 本日予定していた作業終了

※1 燃料デブリ

燃料と被覆管等が溶融し、再固化したもの。

※2 ガイドパイプ

金属でできた筒。外筒と内筒からなり、内筒は原子炉格納容器内部まで伸びる構造となっている。内筒の先には圧力容器下部にアクセスするためのチルト機構・テレスコ機構が接続されている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータに異常な値は確認されなかった。